

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成17年11月24日(2005.11.24)

【公開番号】特開2005-194503(P2005-194503A)

【公開日】平成17年7月21日(2005.7.21)

【年通号数】公開・登録公報2005-028

【出願番号】特願2004-333190(P2004-333190)

【国際特許分類第7版】

C 0 8 C 1/00

C 0 8 K 3/28

C 0 8 K 5/07

C 0 8 K 5/26

C 0 8 L 7/02

【F I】

C 0 8 C 1/00

C 0 8 K 3/28

C 0 8 K 5/07

C 0 8 K 5/26

C 0 8 L 7/02

【手続補正書】

【提出日】平成17年10月7日(2005.10.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ゴムラテックスをパルス燃焼による衝撃波の雰囲気下に噴射して乾燥させることを特徴とするラテックスからゴムを製造する方法。

【請求項2】

ゴムラテックスの固体分濃度(乾燥ゴム分)が60重量%以下である請求項1に記載のゴムの製造方法。

【請求項3】

パルス燃焼の周波数が250～1200Hzであり、ラテックスを噴射する乾燥室の温度を140以下とした請求項1又は2に記載のゴムの製造方法。

【請求項4】

ゴムラテックスが天然ゴムラテックスである請求項1～3のいずれか1項に記載のゴムの製造方法。

【請求項5】

前記パルス燃焼による衝撃波の雰囲気下の噴射乾燥を天然ゴムラテックスに恒粘度剤を添加して実施する請求項4に記載の方法。

【請求項6】

前記恒粘度剤の配合量がラテックス中の固体分100重量部当り0.001重量部以上である請求項5に記載の方法。

【請求項7】

前記恒粘度剤がヒドロキシルアミン、セミカルバジト及びジメドンからなる群から選ばれた少なくとも一種の化合物である請求項5又は6に記載の方法。

【請求項 8】

請求項 1 ~ 7 のいずれか 1 項に記載の方法で得られるゴム組成物。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 6】

実施例 1 及び比較例 1

比較例 1 として従来から行われている天然ゴム(リブド・スマートド・シート(RSS))の製造方法を示す。天然ゴムラテックスをゴムの木から採取後、異物を除去し、ギ酸を加えて凝固させ、ロールを通して水分を除去(シーティング)し、陰干しした未燻製シートを水洗し、70°で6~8日間燻煙しながら乾燥し、選別および等級分けを行い、パッキングされて製造されている。